

見た目は似ていても…

トウシキミ(八角)とシキミ(有毒)

実際にあった事例

平成9年、寺院境内の清掃をした数人が、境内に落ちていたシキミの実を松の実と間違え食べたところ、吐き気、おう吐に次いでけいれん、めまいなどの症状を呈した事例がありました。



トウシキミの果実

八角、ダイウイキョウ(大茴香)、スターアニスと呼ばれ、**甘く強い香り**があり、中華料理などの香辛料とされます。果実(袋果)の先端は、鋭くとがることはなく、徐々に細くなります。



シキミの果実

仏事に使われる抹香の香りがします。**果実は有毒成分のアニサチン含有し、誤食すると、おう吐、意識障害、けいれんを起こし、重症の場合は死に至ります。**果実(袋果)の先端が鋭くとがっているのが特徴です。



中華材料として売られている八角

8つの果実(袋果)が集合しているところから八角と名付けられています。



トウシキミの果実(八角、左)とシキミの果実(右)

トウシキミの果実(八角)の方が大きく、裏側から見ると、形の違いがよく分かります。

有毒



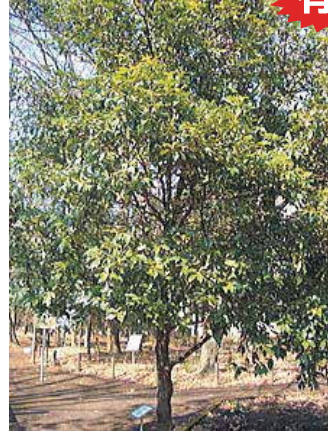
トウシキミの木

トウシキミ(シキミ科)

中国の福建省や雲南省などの山地に野生又は栽培される常緑高木です。

花は淡紅色又は深紅色で年に2回咲きます。果実は始めは緑色で、熟すと紅褐色になります。日本では薬用植物園などの温室で、まれに栽培されています。

トウシキミは、東京周辺の野外に植えられていることはまずないそうじゃ。



シキミの木

シキミ(別名 ハナノキ)(シキミ科)

東北地方南部以南の山地に自生する常緑の木です。お寺や墓地によく植えられ、仏事に用いられます。3～4月頃、薄黄色の花をたくさん付けます。果実は始めは緑色で、熟すと黒褐色になり、果実が割れて茶色の種を落とします。植物全体が有毒ですが、特に果実は猛毒です。

有毒



シキミの花